

年金塾

今の私に
できること

第7回

皆さんは社会人になったとき、転職するとき、結婚や出産を迎えたときなど、さまざまなタイミングで年金について考えるかと思います。このコーナーでは、年金の仕組みや増やし方など役立つ情報を紹介し、質問者の年金に対する不安や疑問を解消していきます。

今月のテーマ 企業型DC (私的年金)

新入社員の田中さん

田中さんのもとに会社から「企業型DC(確定拠出年金)の商品紹介」の案内が届きました。企業型DCの内容がどういうものかよくわからず、首をかしげています。



イラスト/坂本浩子

Q1

企業型DCって何ですか？

入社時に説明を受けたような気がしますが、あまり覚えていません。国民年金(基礎年金)や厚生年金とは、何が違うのでしょうか。

A1

企業が公的年金に上乗せして実施する企業年金の一つであり、従業員の老後の所得を充実させるために、企業が任意で、労使合意のうえで実施する制度です。

ださい。

A2

企業が拠出した掛金を、従業員それぞれが自分で運用し、掛金とその運用益をもとに給付を受け取る制度です。

企業型DCでは、従業員個人が選んだ商品で掛金を運用します(図表2)。運用する商品は、「運営管理機関(金融機関など)」が、従業員のニーズを踏まえて選定します。預金や投資信託等複数の商品を組み合わせることも、運用する商品を途中で変更することもできます。

企業が拠出する掛金額は決まっていますが、従業員自らが掛金を運用するので、給付額は運用成績によって変動します。

運用益は非課税で、給付を受ける際は、年金として受け取る分には公的年金等控除を、一時金として受け取る分には退職所得控除を受けることができます。

ただし、運用成績は自己責任になることに留意しておく必要があります。また、積み立てた資産については、原則60歳になるまで引き出すことはできません。

Q2

企業型DCには、どんな特徴があるのですか？

この制度について、詳しく教えてください。

Q3 自分で資産運用をする
ことに不安があるので
すが……。

これまで資産運用をしたことがない
ため、方法がよくわかりません。大丈
夫でしょうか。

A3 企業が従業員に対し
て、資産運用に関する
教育を実施することに
なっています。

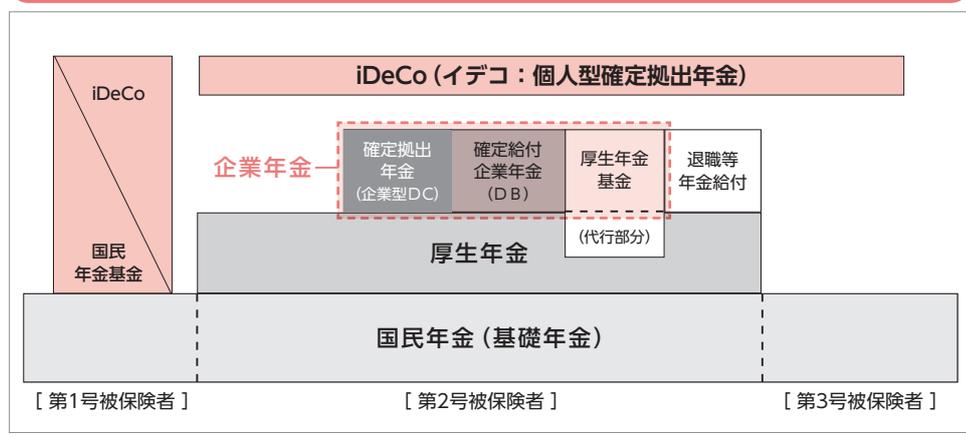
企業が、従業員に資産運用に関する
教育(投資教育)を加入時に実施するこ
とは、法律により努力義務となってい
ます。さらに、今年5月からは、加入
後も継続的に投資教育を実施すること
も努力義務化されました。

投資教育では、DC制度などの具体
的な内容、金融商品の仕組みと特徴、
資産運用の基礎知識などを学べるよう
になっています。

会社からの説明だけでは、わからな
かった点や質問しづらい点について
は、運営管理機関のコールセンターや
ウェブサイトでも問い合わせや、サ
ポートを受けます。

自身のDC資産額や運用状況は、年
に1回、運営管理機関からお知らせが

図表1 年金制度の仕組み



届きますし、コールセンターやウェブ
サイトでいつでも確認できます。自身
の運用状況等を確認しながら、投資教
育や運営管理機関のサポートを受ける
ことで、資産運用が不安な方でも自分
に合った運用が可能です。

図表2 企業型確定拠出年金(DC)の概要

制度の概要	拠出された掛金が個人ごとに明確に区分され、掛金とその運用益との合計額をもとに給付額が決定される制度
掛金負担	事業主負担(労使合意のうえで、加入者も事業主負担を超えずかつ拠出限度額の範囲内で拠出可能)
給付	【開始時】60歳以上65歳以下(加入期間によって異なる) 【給付形態】老齢年金または老齢一時金(併用も可能)
税制	拠出時 【加入者が掛金を拠出する場合】 全額、所得控除(小規模企業共済等掛金控除) ※拠出限度額あり
	運用時 運用益は非課税
給付時	【老齢年金で受け取る場合】雑所得課税(公的年金等控除) 【老齢一時金で受け取る場合】退職所得課税(退職時のみ)または一時所得課税

田中さんのように、企業に入ってから
初めて資産運用をする人もいます。
企業型DCや投資などについての疑問
を一つずつ解消し、自分に合った運用
を行っていきましょう。



そもそも企業年金が何なのかわかっていませんでした。
これを機に、自分に合った運用
商品をきちんと選びたいと思
います。

参考・確定給付企業年金について
企業年金には、企業型DCのほか
に、確定給付企業年金(DB)も
あります。
DBでは、給付額の算定方法が
あらかじめ決まっており、掛金の
額は、給付を賄うよう計算して決
まります。事業主が掛金を拠出し、
資産の運用は企業が行います。